



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 電響社  
コード番号 8144 URL <http://www.denkyosha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤野 博  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 辻 正秀

TEL 06-6644-6711

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,941	14.6	202	—	408	672.4	216	—
23年3月期第1四半期	8,674	15.7	△108	—	52	△68.7	3	△95.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 238百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.28	—
23年3月期第1四半期	0.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	28,831	20,642	71.6
23年3月期	28,349	20,530	72.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 20,642百万円 23年3月期 20,530百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	7.7	200	—	400	102.5	240	190.5	19.12
通期	42,500	7.2	600	47.4	1,200	9.6	700	25.0	55.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	13,330,042 株	23年3月期	13,330,042 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	782,251 株	23年3月期	779,236 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	12,549,684 株	23年3月期1Q	12,564,305 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高騰、不安定な中東情勢、並びに欧州財政危機により企業業績の悪化が懸念される中、東日本大震災により被害を受けた生産拠点及び物流拠点の復興や、福島第一原子力発電所の事故による電力供給不足問題等は長期化しており、雇用情勢は改善に至っておらず、また、企業の設備投資や個人消費も低迷が続くなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社の主要販売先である大手量販店業界におきましては、景気低迷の長期化により、個人消費が伸び悩む中、「節電」「省エネ」「エコ」をキーワードとする商品については大きく伸ばいたしました。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、消費者が求めている商品の発掘と取引先への提案、並びにオリジナル商品の開発等を強化してまいりました。

また、当社と連結子会社の大和無線電器株式会社、梶原産業株式会社の3社共催による合同商談会の実施や、グループ会社間の連携強化による営業基盤の向上を図るなど、積極的な営業政策を進めてまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、99億4千1百万円で前年同期比14.6%の増収となりました。

利益面におきましては、オリジナル商品の販売強化等により一定の利益確保を図る一方、経費削減の徹底等により、経常利益は4億8百万円（前年同期は5千2百万円の利益）となり、四半期純利益も2億1千6百万円（前年同期は3百万円の利益）で前年同期に比べ、それぞれ大幅な増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比4億8千1百万円増加し、288億3千1百万円となりました。

これは主に、現金及び預金、売掛金、たな卸資産をはじめとする流動資産で5億3千9百万円増加した一方、長期預金等、投資その他の資産で7千4百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比3億7千万円増加し、81億8千9百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金をはじめとする流動負債で4億2千4百万円増加した一方、長期借入金、負のれん等の固定負債で5千3百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては前連結会計年度末比1億1千1百万円増加し、206億4千2百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加9千1百万円、その他有価証券評価差額金の増加2千1百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,685	4,915
受取手形及び売掛金	7,666	7,652
たな卸資産	1,985	2,424
その他	853	737
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	15,171	15,710
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	502	496
土地	2,002	2,002
その他(純額)	40	53
有形固定資産合計	2,545	2,552
無形固定資産		
のれん	269	264
その他	58	73
無形固定資産合計	327	338
投資その他の資産		
投資有価証券	2,919	2,953
貸貸固定資産(純額)	3,838	3,826
長期預金	3,048	2,941
その他	499	512
貸倒引当金	△1	△3
投資その他の資産合計	10,304	10,230
固定資産合計	13,178	13,120
資産合計	28,349	28,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,661	3,698
短期借入金	1,550	2,050
1年内返済予定の長期借入金	237	237
未払法人税等	274	168
引当金	152	225
その他	393	313
流動負債合計	6,269	6,693
固定負債		
長期借入金	492	433
退職給付引当金	353	360
役員退職慰労引当金	140	—
負ののれん	132	121
その他	430	580
固定負債合計	1,549	1,495
負債合計	7,819	8,189
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,644	2,644
資本剰余金	2,560	2,560
利益剰余金	15,580	15,672
自己株式	△428	△430
株主資本合計	20,357	20,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	194
その他の包括利益累計額合計	173	194
純資産合計	20,530	20,642
負債純資産合計	28,349	28,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	8,674	9,941
売上原価	7,358	8,290
売上総利益	1,316	1,650
販売費及び一般管理費	1,424	1,448
営業利益又は営業損失(△)	△108	202
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	25	25
仕入割引	148	174
投資不動産賃貸料	72	77
その他	30	27
営業外収益合計	283	311
営業外費用		
支払利息	5	4
売上割引	43	58
不動産賃貸原価	26	26
為替差損	46	15
その他	0	—
営業外費用合計	121	104
経常利益	52	408
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	9
固定資産除却損	—	2
特別損失合計	—	12
税金等調整前四半期純利益	54	396
法人税等	51	179
少数株主損益調整前四半期純利益	3	216
四半期純利益	3	216

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3	216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	21
その他の包括利益合計	△101	21
四半期包括利益	△98	238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98	238
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。